



株式会社

ドン・キホーテ
Don Quijote Co.,Ltd.

ひと目でわかる

2009年6月期 本決算

下期業績急回復、19期連続増収 & 営業増益

金融危機による消費環境の悪化の中で、時流に対応した新業態開発により長崎屋の事業再生が軌道に乗り始め、売上高4,809億円(前期比19%増)、営業利益172億円(同7%増)と、増収 & 営業増益を継続しました。

売上高

4,809
億円

食品・日用雑貨品等生活必需品のお客さま支持が高まり、既存店の前年同期比が0.5%増収と予想を上回った結果、売上高は4,809億円(前期比18.8%増)と過去最高となり、連続増収を達成しました。

営業利益

172
億円

生活防衛型消費への対応等に伴う売上総利益率 0.3pt ダウンも、業務効率向上を目的とした諸施策、固定費削減策の効果が現れ、営業利益は172億円(同7.5%増)となりました。

経常利益

160
億円

営業外損益収支戻は、デリバティブ評価損20億の影響があり、12億円のマイナスとなった結果、経常利益は160億円(同7.1%減)となりました。

当期純利益

86
億円

店舗撤退損失、投資有価証券評価損があったものの、子会社の退職給付制度終了益により、特別損益収支戻が18億円のマイナスとなったことから86億円となりました。

総資産

2,975
億円

新規出店及び業態転換のための設備投資に加え、長崎屋のMEGA ドン・キホーテ化、ビッグワンの子会社化による商品の増加などにより、総資産は2,975億円(同212億円増)となりました。

純資産

900
億円

利益の増加を反映して、純資産は900億円(同53億円増)となりました。なお、自己資本比率は29.9%となっています。

EPS

124
円

1株当たり当期純利益(EPS)は、124円(同7円減)となりました。

ROE

10.0
%

自己資本当期純利益率(ROE)は10.0%となりました。

お買上客数

19,372
万人

当社グループ各店舗をご利用いただきましたお客さま(レジ通過客数)は、1億9,372万人(国内のみ)となりましたが、これは日本の総人口を超えており、1回以上お買い上げいただいた計算になります。

店舗数

218
店

ドン・キホーテは新規出店5店舗。また、ビッグワン株式会社の子会社化により7店舗が加わりました。一方、17店舗の閉店を実施したため、2009年6月末時点におけるグループ店舗数は国内36都道府県214店舗、米国ハワイ州の4店舗を含めると218店舗となっています。

売場面積

590,425
m²

ディスカウントストアを運営するビッグワン株式会社の子会社化などにより、2009年6月末時点における売場面積は、1年前に比べ16,959m²増加し、590,425m²となりました。

年間配当金

23
円

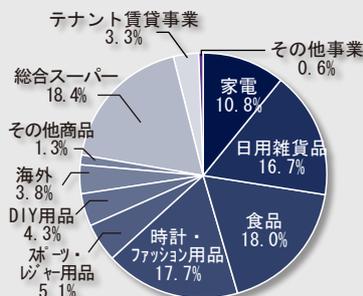
外部環境の急激な変化が経営活動に多大な影響を及ぼす中、6期連続(株式分割を考慮)となる増配を実施しました。配当総額については、上場以来連続して増額を継続しています。

商品点数

104,449
万点

当社グループが、お客様の手許にお届けした商品点数は、10億4,449万点となりました。

商品分類別売上高構成比



株主数

6,304
名

株主数は、6,304人(前期比315名増)となりました。

株主分類別持株数構成比

